

2013年12月26日
日本コンサルタンツ株式会社
八千代エンジニアリング株式会社
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
株式会社三菱総合研究所
日本工営株式会社

JICA「インドネシア ジャワ高速鉄道開発事業準備調査（フェーズⅠ）」の受注・ 契約について

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区）、八千代エンジニアリング株式会社（本社：東京都新宿区）、株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区）、株式会社三菱総合研究所（本社：東京都千代田区）、日本工営株式会社（本社：東京都千代田区）は、この度、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が行う「インドネシア ジャワ高速鉄道開発事業準備調査（フェーズⅠ）」を受注し、2013年12月24日に同機構と契約を締結しました。

インドネシアでは、都市間の高速道路の渋滞が年々深刻さを増しており「国家鉄道マスタープラン」において、ジャカルタ～スラバヤ間（約730km）の高速鉄道の整備が主要事業の一つとして挙げられています。

インドネシア政府は、ジャカルタ～スラバヤ間の高速鉄道整備にあたり、経済・財務面等に鑑み、首都ジャカルタ～バンドン（標高約700m）間（約140km）の高速鉄道整備事業（以下「本事業」と記載）を第1期整備区間として先行整備する方針を打ち出し、2013年3月に本事業の実現可能性に関する調査を日本政府へ要請しています。

本調査では、本事業の需要予測や事業スキームの検討、基本計画や建設計画の検討策定を実施します。ジャワ島は日本と同様に人口密度が高く、地震、降雨、火山等による自然災害が多いことから、50年間にわたり蓄積された日本の新幹線システムの経験は、同国のインフラ整備に大きく寄与するものと期待が寄せられています。

<本調査の概要>

- 調査実施期間（契約期間）：2013年12月～2015年3月まで
- 調査内容：本事業の需要予測や事業スキームの検討、基本計画や建設計画の検討策定を目的とする。
- 調査実施体制：ジャワ高速鉄道開発事業準備調査（フェーズⅠ）共同企業体
共同企業体代表者 日本コンサルタンツ(株)
共同企業体構成員 八千代エンジニアリング(株)・(株)オリエンタルコンサルタンツ・
(株)三菱総合研究所、日本工営(株)

【参 考】

<プロジェクトの概要>

- (1) 事業名： ジャワ高速鉄道開発事業準備調査（フェーズ I）
- (2) 事業目的： ジャカルタ特別州から西ジャワ州バンドンまでの先行整備区間における高速鉄道を整備する。
- (3) 要請概要： ジャカルタ特別州から西ジャワ州バンドンまでの高速鉄道整備に関する事業実現可能性について調査する。
- (4) 対象地域： インドネシア国 ジャカルタ特別州及び西ジャワ州
- (5) 路線延長： 約 140km



- (6) 本プロジェクトに関連する日本の主な援助実績
 - ◇ 「インドネシア・ジャワ島高速鉄道建設事業調査」(ジャカルタ～スラバヤ)
(2009年3月：独立行政法人日本貿易振興機構)
 - ◇ 「インドネシア(ジャカルタ～バンドン間)における高速鉄道構想の案件形成に関する調査」
(2012年3月：国土交通省)
 - ◇ 「インドネシア・ジャカルタ～バンドン間高速鉄道導入検討調査」
(2012年11月：経済産業省)
 - ◇ 「ジャカルタ首都圏投資促進特別地域(MPA)マスタープラン調査」
(2011年5月～2012年10月)